

(3) 森づくり課の事務・事業

①市営林造林管理事業

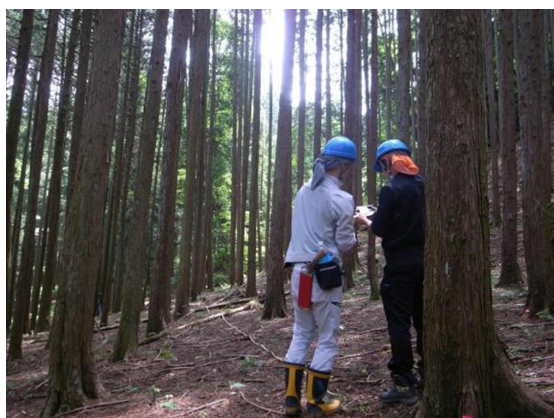
・市営林保育事業

市には約 3,000ha の市営林があります。この森林で間伐・作業道作設・森林認証取得・森林保険加入等の事業を行っています。

2023（令和 5）年度は、下表のとおり事業を実施しました。

表 2023（令和 5）年度市営林保育事業

場所	整備内容	実施数量
大滝栃本地区	作業道作設	153 m
大滝槌打地区	切捨間伐	2.2 ha
大滝栃本地区	樹皮ガード設置	990 本、9.9ha
秩父市大田	支障木伐採	1 本
吉田市場広瀬市有林	雑木刈り払い	1.45 ha
秩父市有林全域	森林管理認証取得	3,004.98 ha
秩父市有林の一部	森林保険加入	128.48 ha
（以下、地域おこし協力隊）		
横瀬町芦ヶ久保鋤柄山	間伐、作業道作設	2.25 ha、300 m



地域おこし協力隊による作業風景

・ふるさと文化財の森

文化庁では、文化財建造物の保存修理に必要な資材の供給林及びそれら資材採取の技能者を育成する研修林を「ふるさと文化財の森」として設定しています。

市有林のうち、樹齢100年生をはじめとする高齢級のスギ・ヒノキ等の森林が約60haまとまっている栃本市有林においては、「200年生の森づくり」基本方針を策定し、将来的に文化財修復用材としての利用も視野に入れ育成しています。なお、2019（平成31）年3月20日には「ふるさと文化財の森」【^{ひわだ}檜皮、木材（スギ・ヒノキ）】の設定を受けています。

2018（平成30）年7月6日には、公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会と「檜皮採取に関する協定」を締結しました。

2023（令和5）年度は372kgの檜皮が採取されました。



檜皮採取作業



まとめられた檜皮

②森づくり事業

・企業の森活動事業

市では、企業のCSR活動の一環として行われている「企業・団体による森づくり」活動に取り組んでいます。普段森林と接する機会の少ない都市住民の方を中心に、市有林をフィールドとして植林や下刈、間伐等の森林保育活動を実践していただいています。協定は「埼玉県森林づくり協定」に基づくもの、その他のものがあります。



株式会社オリエントコーポレーション
「オリコの森」 除伐の様子



本田技研工業株式会社
「ホンダの森」 活動の様子

・ 緑の家庭募金事業

市では、公益社団法人埼玉県緑化推進委員会と協力して、緑の家庭募金を実施しています。各町会ごとに「緑の募金」に協力いただき、前年の募金額の半分以上が同委員会を通じて市に交付され、緑の家庭募金緑化事業として国土緑化、身近な緑の創出等に活用されています。2023（令和5）年度においても、2022（令和4）年度の募金額の半分以上が市に交付されました。市では、この交付金を活用して、市有林の間伐事業等、募金の趣旨に沿った取り組みを行っています。

2023（令和5）年度の募金実績は、下表のとおりです。

表 2023（令和5）年度緑の家庭募金

2022（令和4）年度募金額	1,280,988 円
2023（令和5）年度緑の家庭募金緑化事業交付額（実施額）	640,000 円
2023（令和5）年度募金額	1,257,179 円

・ 秩父森づくりの会

秩父森づくりの会は2012（平成24）年に設立され、秩父市と公益社団法人埼玉県農林公社が所有する横瀬町芦ヶ久保地内の分収林を主な活動拠点として、ボランティアで森づくり活動を実施しています。2024（令和6）年3月末時点での会員数は、32名となっています。

2023（令和5）年度の活動は下表のとおりです。

表 2023（令和5）年度秩父森づくりの会の活動

活動内容	活動回数（回）	参加人数（人）
間伐、集材、玉切り、薪づくり等	17	173



間伐等



薪用材の玉切り等

秩父森づくりの会 活動の風景

・としまの森づくり事業

市と豊島区は1983（昭和58）年に姉妹都市の提携をして以来、40年間と長きにわたり交流を続けており、この交流事業の一環として、2019（令和元）年度からは、「としまの森づくり事業」を実施しています。

2023（令和5）年度の活動は下表のとおりです。

表 2023（令和5）年度「としまの森づくり事業」実施内容

整備内容	実施数量
刈り払い	1.19 ha
遊歩道整備	135 m
大径木処理	110 本
落下防止ネット設置	60 m
落石防護ネット設置	60 m
イベント指導	2 回
巡回・整備	2 回



としまの森
整備前（左）と整備後（右）

③木材活用推進事業

・ウッドスタート事業

市では2014（平成26）年3月に「ウッドスタート宣言」を行い、新生児の10か月児健康診査時に、誕生祝い品として木のおもちゃを配付しています。木のおもちゃは「TUMICCO（つみっこ）」、「ちちぶの幸」、「木守りのおうち」のいずれかを選ぶことができます。

2023（令和5）年度は、「TUMICCO（つみっこ）」57個、「ちちぶの幸」126個、「木守りのおうち」94個、合計277個を配付しました。



「TUMICCO（つみっこ）」



「ちちぶの幸」



「木守りのおうち」

・ イベント出展

秩父産木材のPRのため、秩父地域森林林業活性化協議会（ちちぶ定住自立圏事業）として各種イベントに出展しています。

2023（令和5）年度の実績は下表のとおりです。

表 2023（令和5）年度イベント出展

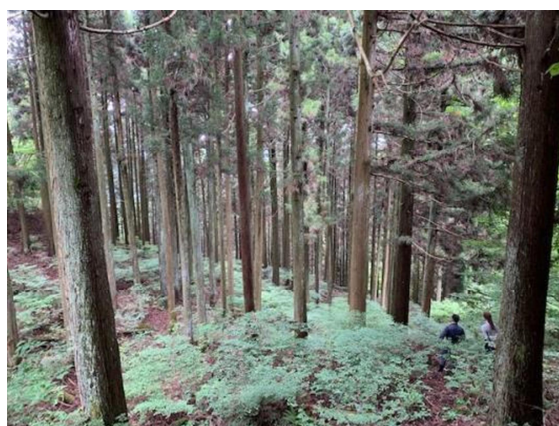
期日	イベント名	場所
5月13日・14日	第42回木が香る秩父フェスティバル	道の駅ちちぶ
10月7日	さいたま市南区 ふるさとふれあいフェア	さいたま市浦和競馬場
10月14日	伝えよう 日本の木のこと、森のこと in 東京おもちゃ美術館	東京おもちゃ美術館
11月11日・12日	第43回木が香る秩父フェスティバル	道の駅ちちぶ

④ 森林環境譲与税運用事業

・ 森林保全巡視

不法採取者や山林火災等による被害を未然に防ぐため、巡視員によるパトロールを行っています。実施は主に月2回程度（積雪期を除く）、市有林内の状況確認を行っています。

2023（令和5）年度は1人の巡視員へ業務委託し、パトロールを実施しました。



巡視の様子

・ 集約林地測量及び資源量調査

2019（令和元）年度から始まった森林経営管理制度において、経営管理権の設定を検討している森林について、経営管理権設定の可否及び間伐等森林整備を行うための基礎資料として、森林所有者の境界確認・測量及び資源量調査を行っています。

2023（令和5）年度は、久那16林班の約28ha、久那17～21林班の約8ha、吉田久長38,40林班の約26ha、荒川久那2,3林班の約53ha、下吉田23林班の約47haについての事業を実施しています（一部令和6年度へ繰り越し）。

・ 森林整備事業補助金の交付

国庫補助や県単独補助の対象外となる森林等について、林業事業者等が実施する間伐等の森林整備を対象とした補助金制度を2022（令和4）年度から開始しました。

2023（令和5）年度の補助事業では、間伐事業39.58ha・補植事業6.82ha・作業道作設事業2,615mに対して、市内的林業事業者等に計28,047,000円を支援しました。

・ 森林環境教育

学校の授業で森林・林業について学び始める小学校の児童を対象として、学校の近くに豊かな森林があるという立地を活かし、林業や木材加工の現場を見学していただき、地域の森林を知り、林業の大切さ、面白さを体感することで、地域の森林や林業という仕事に興味を持ってもらうための事業を行っています。

2023（令和5）年度は、荒川東小学校4年生12名・5年生28名、久那小学校4年生8名・5年生19名、吉田小学校4年生25名・5年生28名の計120名が学習しました。また、社会科教諭10名に対しても実施しました。



森林環境教育の様子

・ 林業就業者対策事業

県内唯一の森林科学科を設置する秩父農工科学高校の生徒を対象にチェーンソー資格取得、林内作業体験、木材センター共販体験等を実施しています。本事業の実施により、林業体験を通じて林業を進路の選択肢の一つとしてもらうことを目的としています。

2023（令和5）年度は延べ80人が受講しました。



林業就業者対策事業の様子

・ 森林管理道保全工事

降雨による林道の崩壊は、側溝に土砂がたまり、排水不良が原因で発生することが多いと考えられています。林道の崩壊を未然に防止するため、森林管理道保全工事を行っています。

2023（令和5）年度は、下表のとおり実施しました。

表 2023（令和5）年度森林管理道保全工事実績

工事場所	実施数量	工事場所	実施数量
（秩父管内）林道大神楽線	367 m	（吉田管内）林道明ヶ平沢戸線	174 m
（荒川管内）林道熊倉線	57 m	（吉田管内）林道矢丸沢線	174 m
（大滝管内）林道巣場線	102 m		



森林管理道保全工事
実施前（左）と実施後（右）